



広島国際学院  
創立87年

オリジナルキャラクター「季節の巫女」  
情報デザイン学科 第7期生(平成26年3月卒)  
水坂 晃太(広島市立工業高校出身)制作

課外活動活性化と「特別キャンパス活動」

特集 課外活動活性化と「特別キャンパス活動」	2・3
安芸区役所と地域連携協定を締結	3
学長退任にあたって	4
学長就任にあたって	4
教頭就任にあたって	5
新任職員紹介	5
兼田先生お別れ会	5
持続可能な社会へ 期待の研究 工学部	6
研究の頂点に到達、輝く成果 情報文化学部	7
学びが拓く新たな世界 総合教育センター	8
努力が結実、笑顔あふれる 短期大学部	9
高校から発信	10・11
本学院学生・生徒の活躍	12
絵画寄贈	12
卒業式・入学式	13
進路状況	14・15
短大第三者評価適格	16
短大50周年記念行事	16
今後の主な行事予定	16

広報

第94号

平成26年5月1日発行

URL <http://www.hkg.ac.jp/>  
※大学ブログも公開中。あわせてご覧下さい。

## 課外活動の活性化と「特別キャンパス活動」



アーチェリー部

大学で学生のみなさんが得るものは、専門知識や資格だけではありません。一生涯の友を得たり、大きな自信を得たり、いわば人生を元気にする「ビタミン」も得ることができます。特にサークル活動やボランティアのような課外活動は、教室の講義では得られない種類のビタミンの素をたっぷり含んでいます。

サークル活動のメリットは言うまでもなくたくさんありますが、さらに本大学の野球部やアーチェリー部、吹奏楽部、茶道部をはじめ各サークルは地域交流も積極的です。このような社会活動を学生自身で企画し実行することは、企画力や協調性などを身につける機会にもなります。そのため、大学としても学生のみなさんがサークル活動やボランティアなどの課外活動に参加することを積極的に勧めています。

### 新設から1年を迎えた「特別キャンパス活動」

大学全体の取り組みの中でユニークなのは、「特別キャンパス活動」という科目です。これはサークル活動やボランティア活動など学生のみなさんの自主的な課外活動に最大4単位が認定される正規の科目で、平成25年度入学生から適用されています。

「特別キャンパス活動」は他の科目とは違って教室での授業が中心ではありません。学友会のスポーツや芸術のサークル活動、個人のボランティア活動、仲間で開催したイベントや地域交流など、学生のみなさんの課外活動が対象です。総合教育センターの「特別キャンパス活動単位認定委員会」に申請すれば、活動時間や教育的な成果を考慮して単位が認定されます(原則は30時間の活動で1単位です)。

単位を希望する活動は学内の責任者が予め必要ですが、あくまでも学生のみなさんの自主的な活動が前提です。ですから、単位認定は活動やイベントが成功かどうかではなく、それによってその人が何を得たかに重点があります。

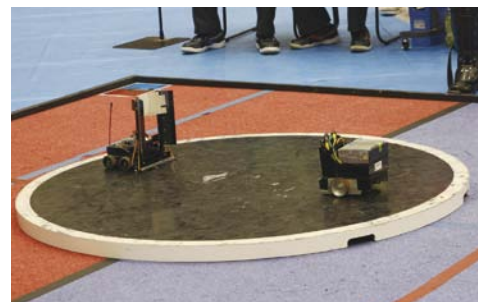
総合教育センターは、この「特別キャンパス活動」の単位だけではなく、全学生を対象としてサークルやボランティアなどのさまざまな自主的な活動をサポートするため、ボランティア情報の発信、活動経費の一部支援も行っています。



「春節を祝う会」では留学生と水餃子作りに挑戦



ボランティア活動報告会



全日本ロボット相撲大会九州大会(ロボット研究会)

また、これからボランティアをやりたい学生のみなさんのために、ボランティア活動を実際にしておられる方を招いての講演会や、ボランティア活動を体験した学生の報告会も行っています。

まだ「特別キャンパス活動」の科目が新設されて1年ですが、これをきっかけとして学内が活性化した効果は大きく、1年生だけのサークル結成や既存のサークルへの加入者の増加、ボランティア活動の参加、3年生による「ロボット研究会」の結成、食農体験塾と高城山登山道開発プロジェクトの始動、1年生の留学生による「春節を祝う会」の開催、さらには1年生の女子学生が留学生の授業に日本語ボランティアで参加するなど積極的な活動がありました。

## 学生も市民も元気に 大成功をおさめた「夏まつり！」



1年生が結成したテーブルゲーム愛好会  
(元気な広島・夏まつり)

特に、昨年7月7日(七夕)に広島駅南口の地下広場「ひろチカ」でのイベント「広島国際学院大学 元気な広島・夏まつり！」が盛大に行われました。午後だけで茶道部の茶席には1,000人の入場者があるなど予想を大きく上回る2,000人以上の来場がありました。これは広報第92号でも紹介されたように、学生たちが自分たちの力で広島を元気にしようと企画したもので、20以上のサークルや学生団体など130人が集まって、一般の人たちに学生の日頃のサークルの成果やおもしろい科学実験を披露しました。そこではどの学生にもやるべき役割があり、入学間もない1年生たちも実験やゲームを実演するなど学生みんなが「なかま」となって成功させました。

このような活動によって、本大学の学生たちが企画力もマナーも団結力もどこにも負けない力をもっており、いつも通りの力を出せば市民のみなさんが元気な笑顔になるということを学生自身も実感して大きな自信につながったようです。

さらに、学生たちの真剣な活動によって、大学の教職員にも学生の活動を自分たちも応援しようという空気が出てきました。このような学内の雰囲気やがて本大学独自の教育を生み出し、他にないユニークな大学となっていく期待も膨らんできました。



吹奏楽部の演奏(元気な広島・夏まつり)

## 広島市安芸区役所と地域連携協定を締結

広島国際学院大学・広島国際学院大学自動車短期大学部と広島市安芸区役所は地域連携協力に関する協定を締結し、去る1月27日に安芸区役所において調印式を執り行いました。

本大学・短大は従来、学内の部門、グループ、授業、クラブ、個人の単位で地域また区役所と連携し、学生の社会参加を促すとともに、地域イベントへの協力などさまざまな活動を行ってきました。大学と地域との連携をさらに深め、継続的・組織的に協議を行い、地域の発展やまちづくりの推進に一層寄与するため、包括的な連携協力に関する協定を結ぶこととなりました。

当日、安芸区役所からは大東和政仁区長をはじめ、熊田一雄副区長や各部長の方々が出席。また大学・短大からは奥田勉学長、佐々木健地域連携センター長(いずれも当時)、大塚厚二総合教育センター長、各学部長、短大部長、事務部長が出席して滞りなく調印式を終了しました。

協定の主な内容は次の通りです。

- |           |                                    |              |
|-----------|------------------------------------|--------------|
| (1)連携協力事項 | ①魅力と活力のあるまちづくり                     | ④地域福祉の向上     |
|           | ②安全・安心なまちづくり                       | ⑤健康づくりの推進    |
|           | ③教育・文化・スポーツの振興                     |              |
| (2)連携窓口   | 大 学：地域連携センター                       | 区役所：地域起こし推進課 |
|           | ※上記窓口で毎年当該年度の成果および次年度の協力事項について協議する |              |

この協定をもとに、本大学では(1)地域の知による学生教育の充実(2)研究・教育の成果を地域に還元する(3)社会貢献により地域とともに発展することを目的として地域連携を推進していきます。



広島市安芸区の大東和区長(右)と奥田学長

## 学長退任にあたって



奥田 勉

### — ご協力に感謝して —

この度、4年間の学長任期が終了して大学を去ることになりました。本学に来て10年間も若者の教育に携わることができましたことをたいへん満足以上と思っています。学長の職務は思った以上にマネジメント能力を要求されるもので、私のような非才の身が不足ながら大任を任せられましたことを、心から感謝申し上げます。理事長のご理解とご支援があり、また、学長補佐や学部長の皆さん、教員や事務職員の皆さん、系列高校の皆さんの多大なるご支援ご協力があった、やっとここまで辿り着くことができたという思いで一杯です。

大学の評価は教育力で決まると信じて、良い教育をするために改組転換を行いました。限られた分野の最小限の人材を活用して、時代のニーズに合った最大限の教育を行うことを目指した改組は、初めから教職員に忍耐を強いるものとなりました。自動車短期大学部も同様の忍耐を受け入れて貰わざるを得ませんでした。この試練を乗り越えれば、今後の展望は開けていくと信じています。

今後、佐々木新学長の下、いろいろと難しい課題があると思いますが、私達ができなかったことや適切に成し遂げられなかったことが大きな荷物として残っていますので、広島国際学院の全ての教職員が力を合わせ、そして、大いなる抱負をもって邁進していただきますようお願いいたします。そうすれば、必ずや困難は打破できると確信しております。本学のますますのご発展を心からお祈りいたします。

## 学長就任にあたって



佐々木 健

### — 学生、職員、教員にとって、明るく楽しい大学へ —

奥田勉前学長のご定年退職に伴い、学長職を引き継ぐこととなりました。現在、少子化に伴いたいへん厳しい課題が山積している中で、大学、短大のかじ取りを担うことになり、身の引き締まる思いをしております。

私は昭和55年に本学に一般教養と短大の化学担当講師として採用され、非常勤助手勤務を合わせると36年勤務にもなり、いわゆる生え抜きの教員です。これまで多くの広島大学ご出身の学長と比べ、能力、実力ともに見劣りする思いですが、引き受けたからには全力で取り組みます。病気で約8か月休業し、たいへんご迷惑をおかけしましたが、本学院のために“最後のご奉公”という気持ちで、健康に留意しつつ職務を全うする所存です。

これまでの奥田前学長のご指導のもと、平成25年度の改組に取り組んだ経験から、本学の特徴であるきめの細かい丁寧な教育、学生の目線に合わせた教育を継承し、社会人基礎力と人間性にあふれた人材育成に取り組むと思っています。最近文部科学省は、大学の地域貢献を重視し、教育、研究ばかりでなく、地域に密着した社会貢献を行うよう地方大学に求めており、本学はまさにこの動きを先取りしたような大学運営に取り組み始めたところ。「親和、協同、実践」の教育理念に基づき、人間の和と実習重視の学び、いわゆる地域密着型の「身体全体で学ぶ」教育を実践するようリーダーシップを発揮してゆきます。特に、私はキャラクターとして“明るく楽しく”をモットーとしており、学生、職員、教員が「もっと」明るく楽しい学園生活を送れる大学にしてゆきたいと思っています。ご指導、ご協力をよろしく願います。

## 高等学校教頭就任にあたって



田中 満彦

近年、教育に関わるさまざまな環境の変化には目まぐるしいものがあり、私自身、時の流れに敏感になってきたと思います。本校を第一志望としてくる生徒は増えてきているものの、やはり公立高校の競争率に左右されている状況は変わりません。如何にして選ばれる学校になるのか、今の中学生の生徒や保護者のニーズはどのようなものかと学校長はじめたくさんの先生方が検討し、本校をより良い方向に導いてくださっています。そのためにも私自身、はやく情報を手に入れたいといけない、となかば強迫観念のような気持ちがある一方、教育においては、時代によって変わらない大事なものがあり、本校もそれをしっかりと引き継いでいかななくてはならないという気持ちもあります。それは建学の精神「教育は愛なり」に集約される優しくも気高い精神であり、私はその精神のもと教育実践できる教員集団の形成に寄与していきたいと思います。そしてこの広く先の見えない海原で舵をとられる学校長を補佐し、高等学校を発展させるために全力を尽くしてまいります。

## 新任職員紹介

— はじめまして よろしく —

さだくに しんご  
**定国 伸吾**  
情報デザイン学科 講師

今年度より講師として着任いたしました。これまでの教育・研究経験を活かし、本大学の風土にあわせた教育・研究スタイルを探っていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



たけなか けん  
**竹中 健**  
現代社会学科 講師

本大学の教員としてお世話になります。社会学を担当します。医療周辺のボランティア組織や自助組織を研究しています。短大や高校にもお伺いします。皆さまとの新しい出会いを楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。



たけうち ますみ  
**竹内 真澄**  
学生支援課 学生担当課長

このたび本大学事務部に勤務させていただくことになりました。学生にとって有意義なキャンパスライフが送れるよう、学生支援課学生担当としてサポートさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



## 故兼田貴子先生（情報文化学部講師）のお別れ会

故兼田貴子講師（享年40歳）の「お別れ会」が新学期開始直後の4月11日に情報文化学部主催でしめやかに執り行われ、故人を偲ぶとともに一人ひとりの心を込めた献花により御冥福をお祈り申し上げます。

兼田先生は、2月23日、アステールプラザで情報デザイン学科卒業制作選抜展開催中に急逝され、葬儀は同26日に執り行われましたが、春休み中でしたので新学期開始と共に「お別れ会」が挙行されました。



兼田先生お別れ会

兼田先生は、平成14年3月名古屋芸術大学大学院修士課程を修了され、本大学には平成21年4月に着任されました。「映像作品研究」などの授業を担当されて多くの学生に慕われると共に、広島国際アニメーションフェスティバルの支援などでも貢献されて、一層のご活躍が期待され、夭逝が悔やまれています。



兼田先生

# 持続可能な社会へ 期待の研究

## 工学部



地域の方と一しょに「もちから」を作る学生

### “もちから”をいっしょに作ろう！ ～食農体験塾～

2月19日、食農体験塾の第8回として地域の方を対象とした「もちからをいっしょに作ろう！」を開きました。

“もちから”とは、バイオ・リサイクル専攻の2年生が「ものづくり創成I」の授業の中で考案し命名した、おからと米粉で作るお菓子です。地元企業、(有)瀬野川豆腐大宮の豆腐製造時に出る「おから」をリサイクル資源として活用する意味があります。地域の方々へレシピを公開し、地域貢献に一役買おうと活動したものです。

当日、会場の中野公民館には定員の倍近い27名もの参加があり、反響の大きさにビックリ！でした。1年生も先輩と一緒に和気藹々と楽しく指導し、試食では「美味しい！」ととても喜ばれました。“もちから”を一緒に囲み、お話しできる機会は学生たちにとっても、地域の方々にとっても貴重な良い時間となったようです。

参加者からは、「また来てやってほしい！」とのうれしいお声もいただきました。また、当日の様子は2月26日の中国新聞朝刊に紹介されました。読者からの反響もあり、学生による地域活性化への期待がうかがえます。

“もちから”を通じて、学生自身が地域貢献の活動を自ら作り出せるということに気づき、自信をもってほしいと願ってやみません。

## 2013年度卒業研究発表 ー機械工学専攻ー

総合工学科機械工学専攻(現「生産工学科機械工学コース」)の2013年度の卒業研究発表が2月中旬に各研究室で行われ、機械工学分野における卒業生の1年間の研究成果が発表されました。多彩な研究テーマがある中で、「帯溶融精製によるアルミニウムの高純度化」(図1)や、「CAEを用いた歯車の強度解析」(図2)といった専門的研究と、「機械振動及び騒音が人に及ぼす影響」のような、生活に密着したテーマ、及び「スターリングエンジンの設計と製作」(図3)など実務的な物づくり技術の発表は、特に学生から関心を集めました。

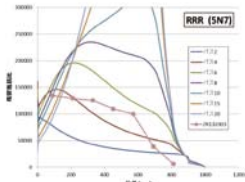


図1 帯溶融精製のシミュレーション結果



図2 歯車強度のCAE解析



図3 スターリングエンジンの製作



美味しいバーベキューに話も弾む  
(生産工学科)

## 新入生オリエンテーション行事

4月5日に入学式を終え、工学部に入学してきた新入生を歓迎するとともに、新入生と教職員の親睦を図るため、新入生オリエンテーション行事が開催されました。

生産工学科では、4月12日に新入生オリエンテーション行事が行われました。総合教育センターの学科担当チューターを含め、生産工学科の教職員や手伝ってくれた数名の上級生と新入生が自己紹介した後、バーベキューを楽しみながら歓談しました。楽しい時間を過ごすことができ、新入生には好評でした。

食農バイオ・リサイクル学科の新入生オリエンテーション行事は4月19日に行われました。天候が心配されていましたが当日は晴天となり、ヤギも参加しました。本学科教員および総合教育センターのチューター担当教員が自己紹介や学生生活へのアドバイスをした後、ひと味もふた味も違う特別なバーベキューをみんなで楽しみながら歓談しました。お手伝いしてくれた上級生や大学院生十数名と新入生が自己紹介し終えた頃には、石窯で焼いた特製ピザができあがり、みんなで美味しくいただきました。食を学ぶ学科の特別な料理はとても好評でした。このようなイベントを「またやりたい(食べたい?)」という声がたくさんありました。



特別ゲスト?のヤギ君も大人気  
(食農バイオ・リサイクル学科)

# 情報文化学部

# 研究の頂点に到達、輝く成果

## 卒業研究・制作選抜展 — 情報デザイン学科 —

2月22日から24日までの3日間、アステールプラザ市民ギャラリー(広島市中区)で第7回卒業研究・卒業制作選抜展が開催されました。学生はコンピュータの基礎的ハードウェア・理論分野を含めて、CG、デザイン、ゲーム、アニメーションなど幅広く勉強しており、選抜展ではこれらの多様な研究・制作から合わせて31点が展示されました。会場では学生が来場者に積極的に説明していました。

また、基調講演には千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻教授・伊藤智義先生にお願いして「科学技術とメディアアート」というテーマでお話をいただきました。さらに、本学部との提携校である韓国の漢城(ハンソン)大学校芸術大学からも作品が出展されました。選抜展は盛況のうちに終了しました。



卒業研究・制作選抜展

## 卒論発表会 — 現代社会学科 —



卒論発表会

2月15日、現代社会学科の卒業論文発表会を開催しました。卒業生を代表して9人に、自分の取り組んだ卒業論文について発表してもらいました。テーマは、プロ野球、大学スポーツ、都市伝説、差別語、ファストファッション、アイドル、障害者、哲学、少数民族言語と多岐にわたり、発表者とフロアの間では活発な議論もなされ、熱のこもった発表会となりました。発表者にとって、長い時間をかけて取り組んできた研究の成果を、大勢の人に伝えたという経験はとても貴重なものとなったはずです。

## 新入生歓迎行事

### 美術館探訪と街歩き ～情報デザイン学科～

情報デザイン学科では4月12日に新入生歓迎会を行いました。まず午前中に全員でひろしま美術館(広島市中区)を訪れ、開催中の熊谷守一展を鑑賞しました。展覧会では草花や虫、猫などの身近なものを題材にした作品も多く展示されており、新入生にもたいへん参考になったことでしょう。

美術館鑑賞後の昼食に袋町の「うらぶくろ商店街」エリアへ移動し、街歩きを行いました。新入生はチューター毎のグループに分かれ、うらぶくろエリアを散策。気に入ったお店を見つけるとグループでランチを楽しみました。ランチの後は大手町のサテライトキャンパスひろしまでミーティングをしました。新入生は美術展の感想やうらぶくろ商店街の様子などそれぞれの気づきや感想を発表し合いました。新入生にとって広島の街を深く知ることとは、これからの学生生活に大きな活力となるでしょう。



ひろしま美術館で鑑賞会  
(情報デザイン学科)



ボウリングを楽しむ新入生たち  
(現代社会学科)

### ボウリングで親睦を深める ～現代社会学科～

4月12日、五日市のアヴィューボウルにて、現代社会学科の新入生歓迎交流会が行われ、ボウリングと食事会を通じて新入生と教員の親睦を深めることができました。チームごとに分かれたボウリングでは、最初は新入生の表情が硬かったのですが、ゲームが進むにつれて笑顔で楽しんでいました。体を動かした後は、パーティールームに移動して食事をいただきながら、ボウリングのスコアの良かった上位チームの表彰や新入生による自己紹介が行われ、それぞれ大学生生活への期待も語ってもらいました。



大学で行ったスクーリング

## 事前教育

本大学では12月までに入学の決まった皆さんに対して、「事前教育」という名称でスクーリングや通信添削を行っています。既に20年以上続けているこのプログラムは、入学予定者の皆さんが4月により良い大学生活のスタートを切ってもらえるように、各々の学科で必要な基礎知識の確認と大学の先生からのメッセージを伝えることを目的としています。

昨年も12月のスクーリングに入学予定者の皆さんに大学へ集まっていたいただき、通信添削の受講の仕方などの説明や問題の解き方などを知ってもらいました。事前教育で使用される「入学前学習テキスト」では、入学される学科に合わせて、テキストを参考にしながら解いていけるようになっています。新入生の皆さん、いよいよ始まった大学生活を満喫できるよう頑張りましょう。

## 「異文化体験Ⅱ」(パラオダイビングツアー)

12月5～13日まで、学生7名を引率し、パラオ共和国に8泊9日の日程でダイビングツアーに出かけました。この授業は、早い時期に異文化に触れることで自分のおかれている環境を客観的に見つめなおし、その後の学生生活をより価値あるものにしてもらいたいという趣旨で毎年行われています。

今回はパラオを世界的に有名にしたダイビングポイント「ブルーコーナー」を中心に11ヶ所のダイビングを行いました。また、石灰岩の白い泥で有名なミルクウェイやクラゲが無数に泳ぐジェリーフィッシュレイクでの貴重な体験も堪能しました。



スノーボード実習

## 「生涯スポーツB」(スノーボード&スキー実習)

2月16～19日まで鳥取県だいせんホワイトトリゾートにて授業を行いました。58名の履修学生はレベル別班に分かれ、4日間の実習に挑みました。スノーボードが初めての学生もベテラン指導者の下、めきめきと上達し、最終日には山頂からの上級者コースも難なく滑ることができる技術を習得しました。

スキー実習は各大学で行われていますが、スノーボードの実習が行われている大学は広島県内では本大学以外にありません。



個性的なクリスマスリースが  
次々に完成した

## 女性セミナー

12月4日に第5回女性セミナー「クリスマスリースを作ってみよう！」を工学部助教の森川博代氏にご協力いただき開催しました。リースを作るのは受講生の皆さんには初めてだったようですが、森川氏のきめ細やかなご指導の下、各自で個性豊かなリースを完成させることができました。

また、1月28日の第6回(最終回)「花を咲かせよう！」では、本大学の非常勤講師である吾郷克己氏に花の寄せ植えについて、懇切丁寧にご指導していただきました。現在、3号館の入口に寄せ植えのプランターを並べていますので、是非、綺麗なお花をご覧になって下さい。

## 新入生の絆深まる 一入学前プログラム「自己の探求」実施

入学式を直前に控えた4月3日からの2日間、本大学2学部の新入生が全員集合し、コミュニケーション実習のプログラム「自己の探求Ⅰ」を受講しました。

第1日目は、所属学科ごとのグループ分けから始まり、一対一の対話形式を通じて相互認識を深め合った上で、グループ内でそれぞれの意見や知識を持ち寄って合意形成する体験を積みました。

第2日目は、それぞれの価値観や自己分析結果、またコミュニケーションに関する意見などを持ち寄って話し合い、時にゲーム形式も交えて楽しみながら、自己と他者への理解をさらに深めていきました。最後に、相互の印象や今後へのアドバイスをカードに記して交換したり、この2日間で学んだことや得たことを発表しあったりして、プログラムをしめくくりました。

入学後にクラスメイトとなる新入生同士、初めての顔合わせとなりましたが、プログラムを通じて、早くも同級生としての絆を深めることができました。



同級生の絆を深めた「自己の探求Ⅰ」



## 猛勉強が実った！笑顔の3冠！！ — 自動車整備士試験結果 —

平成25年度第2回自動車整備士登録試験(平成26年3月23日実施)の合格発表が行われました。結果は次表に示すとおり2級ガソリン、2級ジーゼル、1級小型(学科)試験において全員合格で3冠達成!!となりました。

	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率	全国合格率(参考)
1級小型(筆記試験)	4名	4名	4名	100%	(43.2%)
2級ガソリン	71名	69名	69名	100%	(81.2%)
2級ジーゼル		22名	22名	100%	(94.1%)



試験後に自己採点を行う学生たち

2級自動車整備士実技講習会は、昨年の10月から5ヶ月間という長い講習に学生も真剣に取り組み、登録試験を目標に土日祝日も返上して模擬試験や個人指導を徹底的に行ったことによる100%合格の嬉しい結果となりました。

1級整備士については、1月下旬から本格的な対策を始め、今年度は前年までの模擬を変更し、より国家試験に近い問題とし、徹底的に教科書をベースに全員で理解できるまで教え合い、レベルアップすることで見事全員合格を果たしました。

工業科・専攻科学生とも長く辛い期間でしたが、最後は全員で喜べる結果となり、笑顔で短大を去って行きました。



会社説明会

## 幅広い企業から自短生獲得のため

— 学内会社説明会を開催 —

2月1～2日の両日、学内会社説明会を実施しました。両日併せて57社(メーカー2社、ディーラー33社、一般整備14社、一般企業4社、公益4法人)の参加を得ました。

自動車整備が主な就職先ですが、自動車技術の修得学生は機械関係など一般企業にも通用する教育を身につけている側面もあり、企業側には現場の仕事も苦にせず、デスクワークもこなせる人材を求めている所もあります。

今回の特徴は、公益法人関係(自動車検査独立行政法人、軽自動車検査協会、日本自動車機械工具協会など)が自動車整備技術や教養を身につけた学生の人材を求めていることから学生にとっては職業選択が幅広くなり、この説明会を通して将来の夢も広げられるのではと真剣に聞きっていました。

説明会を実施した日も、その翌日にも会社の採用試験がありました。学生には内定をもらうまで気の休まることのない現実が待っています。

## 自動車短期大学部教育方針説明会を実施

4月5日の全体の入学宣誓式のあと、自動車短期大学部の教育方針説明会が行われました。まず保護者の皆様に対して短大後援会の活動内容の説明と活動協力の依頼があり、次に本学の建学の精神、教育目標、入学者受け入れ方針、教育課程編成・実施の方針、学位授与の方針など短大の教育体制に関する説明と、学生生活を送る上でのポイント、進級・卒業の要件、整備士資格取得状況や1年生のチューターの紹介などが行われました。次に就職担当窓口からはこれまでの指導経験に基づき、就職活動の厳しさや注意点等の詳しい説明がありました。その後、保健室の役割や健康診断時の注意事項などの説明が行われました。これからの学生生活を有意義に送るための大切な説明であり、皆さん熱心に聞いておられました。今年度は81名の新生を迎えることとなります。これからの新しい生活に向かって元気に張り切ってスタートしましょう。



教育方針説明会

## 韓国・旗善高校来校について

国際交流委員長 3年 相澤 ななみ(海田西中学校出身)

今回、韓国・江原道・チョンソン群から韓国の生徒たちと先生方が来られて、少しの時間でしたが交流することができました。

歓迎式では、アリラン演奏、サムルノリ演奏を聴いて、言葉、衣装、曲調から異文化を楽しむことができました。アリラン演奏は、体を動かしながら歌う曲でした。ラップのようなところがあり、一番印象に残っています。そして、サムルノリ演奏は、伝統的な楽器を用いており、楽器ひとつひとつに迫力があり、とても心に響きました。

交流授業では、好きな漢字を1字書きました。韓国では、現在漢



アリランの歌

字をほとんど使わないそうなので、漢字の意味などを伝えました。また、折り紙で折鶴を折り、広島との関係が深いものであることを伝えることができました。

実際、言葉もあまり通じず大変な場面もありましたが、身振り手振りで少しずつコミュニケーションが取れるようになりました。

今後も日本の文化を他の国の人たちに伝えていきたいです。韓国の生徒のみなさんも、本校で過ごした時間が楽しい思い出となっていれば良いなと思います。



チョンソン高からの訪問団と韓国教育員(下段右から3人目) 太田校長(同4人目)と恵島教諭(同右端)

## 『ホームステイを振り返って』

保護者 川原 薫

1月25日、広島駅で教頭先生や恵島先生、子供とともに出迎えたのがユンさんとの初めての出会いでした。恥ずかしがっているうちの子にフランクに話しかけてくれて、ほっとしたのを覚えています。打ち合わせを終え、家族だけになった時です。母国語はハングル、英語は堪能、日本語は少し話せると聞いていましたが、ほとんど日本語が通じないことに少しとまどいました。私達はハングルも英語も話せません。でも、ここは日本、日本語を勉強するために来たのだから、日本語で通そうと思い直しました。ただ、コミュニケーションが取れないのはつらいものがあって、パソコンの翻訳機や携帯のアプリが本当に役に立ちました。しかし、さすが、留学を志すだけあって、日本滞在中の3週間でびっくりするくらい日本語が上手になり、私達は本当に助かりました。

子供にはクラブがあり、私は働いていたので、学校が終わってからや休みの日には、子供の友人、子供の姉たち、総合学科2年3組のクラスメイト、PTAの方々や、昨年ミン君がホームステイした方にまでお世話になりました。野球部の先生や部員のみなさんにもいろいろ無理をお願いしました。お別れの日には、広島空港で、大雪のためいつ飛び立つかわからない状況の中、YFU日本国際交流財団の方に奔走してもらいました。恵島先生には日々の中でいろいろ調整していただきました。たくさんの支えがあって、無事役目を果たすことができました。

ユンさんも、たくさん引っぱりまわりましたが、よくつきあってくれました。食事は何を出しても「おいしい」と食べてくれました。特に良かったなあとと思うことは、子供に海外の友人ができたことです。はじめはなかなか打ち解けられなくて心配しましたが、いつか会いに行くと言うほど仲良くなり、その後もメールでやりとりしています。海外の高校生も自分たちと同じなんだなあと子供の世界が広がったのではないかと思います。貴重な体験を本当にありがとうございました。



留学生ユンさん(左から2人目)と宮島へ

## アジアスクールボウリング選手権大会と 全日本ボウリング選手権大会に参加して

3年 石本 美来(矢野中学校出身)

今回、第15回アジアスクールボウリング大会という国際大会に参加できたのは、18歳未満の部で日本代表6人の中からさらに本部が実績や技術を評価して4人を選出した中に入ることができたからです。私は中学3年生の時から日本代表に所属していますが、今回が初めての海外遠征でした。2月9日から26日までインドネシアのジャカルタで開催されました。初めて見る他国の選手はみんなパワフルで勢いや技術も優れている選手ばかりでした。中でも地元のインドネシアをはじめシンガポールや韓国の選手は特に強豪揃いでした。初めての海外試合で右も左もわからずとても緊張していましたが、チームの雰囲気は大変良く、4人チーム団体戦では一致団結をして銅メダルを獲得することができました。そしてシングルス・ダブルス・4人チーム戦での上位16名が総当たり戦を行い、その上位3名が優勝決定戦を行うマスターズ戦にも進出し、初めての金メダルを手にすることができました。



アジアスクールボウリング選手権大会で  
金メダリストとなった石本さん

続いて3月13日から16日まで愛知県稲沢グランドボウルにて第52回全日本ボウリング選手権大会が開催されました。この大会は年齢制限がないためナショナルチームの方々もたくさん参加されていました。2人戦では広島の方とチームを組んで3位入賞することができました。3人チーム戦、6人チーム戦では入賞することができませんでしたが、個人の18ゲームトータル点で個人総合2位になることができました。さらに、18ゲームの合計点の上位20名で競うマスターズ戦に出場しましたが9位に終わりました。入賞まで5ピン差で詰めの甘さを感じました。次の大会では、マスターズや個人戦で優勝できるように精神力や技術力を付けたいと思います。



献血活動

## 校内献血活動について

本高校で毎年実施している「校内献血活動」も今年で26回目を迎えました。夏には日本赤十字社から25年連続の活動に対して表彰していただきました。今回も2・3年生の生徒・教職員・保護者から178名の参加があり、129名が献血に協力。3年生は献血カードを持っている生徒も多く、昨年度の献血にも参加してくれた生徒が多かったです。2年生は来年も参加すると言っています。

今後もこの活動を継続し、ひとりひとりが献血活動を通して助け合いの気持ちや、いのちの大切さを考えてくれることを願っています。

## 避難訓練(備えあれば憂い無し)

昨年は雨続きで実施できなかった避難訓練を今年は予定どおりに行うことができました。

先日、広島でも大きな揺れを感じる地震があったばかりです。その際皆さんはどのように行動しましたか？突然のことで焦ってしまった人も多いのではないでしょうか？いざという時に迅速に正しい行動をとることは案外難しいことです。そのために避難訓練があります。

当日は事前学習として災害への心得をHRで学習し、東日本大震災の経験も踏まえながら①身の安全の確保②避難経路③避難の決まり「お・は・し・も」を再確認しました。

今回は1号館多目的練習場から火災が発生したという想定で訓練を行いました。全校生徒がグラウンドに避難するまでの目標を10分とし、号館ごとに避難経路が違うものの迅速に落ち着いて行動できました。火災発生から避難したグラウンドでの人数点呼、そして全体統括への報告までにかかった時間は8分20秒となり目標時間をクリアすることができました。

今日の避難訓練で学んだことを、災害が起きた場合にも落ち着いて行って欲しいと思います。また、今回は非常階段を利用しましたが、非常階段の前に荷物があって扉が開かないこともあるかもしれません。普段使わないからと言って意識をしていないといざという時に大事な役割を果たせないということも考えておかなければなりません。

今日の避難訓練は日頃からの防災意識を高める上で大きな意味があったと思います。

## 【大学・短大】平成25年度部活動成績

サークル名	受賞者	出場大会名	成績
アーチェリー	石田 明日香 (4年 広陵高校出身)	第24回全日本学生アーチェリー西日本大会 (女子個人)	2位
	石田 明日香	第43回中国四国学生アーチェリー個人選手権大会 (女子個人)	1位
	石田 明日香	第10回つま恋カップアーチェリー大会 (リカーブ女子団体戦) 広島成年女子	2位
	石田 明日香	第52回全日本学生アーチェリー個人選手権大会 (女子)	2位
	石田 明日香	第68回国民体育大会中国ブロック大会 (成年女子個人)	1位
	石田 明日香	第68回国民体育大会 (成年女子団体)	2位
	石田 明日香	第18回中国四国学生室内アーチェリー個人選手権大会 (女子個人)	1位

## 【高等学校】平成25年度部活動成績

部名	受賞者	出場大会名	成績
レスリング	山口 健太郎 (2年 府中中学校出身)	平成25年度JOC杯中国四国ブロック大会 (個人)	2位
	永井 達也 (3年 八本松中学校出身)	第52回中国高等学校レスリング選手権大会 (個人)	2位
ボウリング	石本 美来 (2年 矢野中学校出身)	第68回国民体育大会ボウリング競技 (団体)	1位
	星川 創 (2年 昭和北中学校出身)		2位
	森本 海成 (3年 大州中学校出身)		2位
水泳	森山 大吾郎 (3年 宇品中学校出身)	第61回中国高等学校選手権水泳競技大会 (個人)	5位
柔道	戸津 青葉 (1年 七尾中学校出身)	第60回中国高等学校柔道大会 (個人)	3位
	加納 裕輝 (3年 口田中学校出身)		3位
ゴルフ	田辺 ひかり (1年 駅家南中学校出身)	第19回中国ジュニアゴルフ選手権大会 (個人)	1位

## 絵画の寄贈 — 大学と高校に —



「燃えあがる新緑」  
近藤岩蔵様作品

本学院系列学校(大学および高校)に絵画をご寄贈いただきました。寄贈主に感謝申し上げますとともに、ご紹介させていただきます。

卒業生の近藤岩蔵様(平成8年3月電子工学科卒)から大学にいただいた作品はタイトルを「燃えあがる新緑」と申します。緑深き森の情景に心休まる一枚です。

西本名誉学院長の友人で新展美術協会常任理事・副会長でもいらっしゃる植野史煌様からは、「楽鳥」と題する作品を高校に頂戴しました。色鮮やかで繊細な描写は見ているだけで明るく楽しい気分になります。



「楽鳥」 植野史煌様作品

## 卒業式(大学・短期大学)

前日の雨も上がり春の日差しが降り注いだ3月19日、平成25年度大学・短期大学合同卒業証書・学位記授与式が挙行されました。登壇した卒業生代表はいくぶん緊張しながらも、その表情は満足感と喜びに輝いていました。奥田勉学長の式辞、来賓による祝辞に続き、各賞の授与が行われました。4年間アーチェリー部で活躍し、第52回全日本学生アーチェリー個人選手権大会では2位を受賞するなど数々の賞に輝いた石田明日香さん(広陵高校出身)、福島県の農地で光合成細菌を使った放射性セシウム除去作業に携わり、また学友会体育局長としても活躍した岡川真和さん(広島国際学院高校出身)の二人には「学長賞」が贈られました。



学長賞を受ける石田さん

## 卒業式(高等学校)

校庭の木々もみずみずしい緑の芽をふき、春を感じさせる3月1日、多数のご来賓の臨席のもと第65回卒業式が盛大に挙行されました。ここ数年では最大の502名という卒業生を送り出すことになり、会場は二階席まで満員の状況でした。今年は卒業生が2年次に作成した畳10畳分のモザイクアート13クラス分が会場の横壁に飾られ、今までと異なる卒業式の雰囲気到来の方々からも称賛の声をいただきました。太田茂校長は「高校3年間に積み上げた努力の結果と実績は生涯にわたって価値を持ち続け、その歴史を背負って21世紀の幾多の課題に勇気を持って挑んでいただきたい」と饒の言葉を贈りました。クラス懇談では卒業生から先生や保護者への感謝の気持ちが述べられ、感動の一日となりました。予報にもかかわらず、最後まで雨を見ることなく思い出の残る卒業式となりました。



卒業証書授与

## 入学式(大学・短期大学)

4月5日、平成26年度大学・短期大学合同入学宣誓式が執り行われました。体育館へと続く坂道には桜の花びらが散り敷いて鮮やかな模様を描き、新入生たちを導いているようでした。体育館には吹奏楽部の演奏が響き、厳粛な式典に和やかな雰囲気を作り出していました。

佐々木健学長の入学許可宣言に続いて新入生代表が登壇し、力強く宣誓しました。佐々木学長は式辞で「私も本年度学長に就任した皆さんと同じ1年生であり、改めて新鮮な気持ちで一緒に学び過ごしたいと存じます」と新入生にエールを送りました。

式の後、学内では恒例の入学祝賀茶会が催されました。時折小雨もばらつく寒い日でしたが、訪れた新入生や保護者たちは茶道部員が心を込めて点てた温かいお茶を楽しんでいました。



大学・短大合同入学宣誓式

## 入学式(高等学校)

校内の桜もまだ咲きほころぶ4月8日に、暖かな春の日差しの下、平成26年度第68回入学式が体育館で挙行されました。新入生は新しい生活に期待を膨らませ校門をくぐり、先生や先輩方のあいさつに初々しく、しかしながら元気に返事をしていました。太田茂校長は式辞で498名の新入生に向けて“学ぶことの意味”について詳説し、「本校での高校生活が感動と希望に満ちた3年間となりますように」と激励とお祝いの言葉を述べました。また新入生代表「誓いの言葉」では、近藤翔太君(温品中学校出身)が決意を述べました。式後、担任に引率されて教室に入った生徒たちは、初めてのオリエンテーションをやや緊張しながらも真剣な眼差しで聞いていました。我々教職員も気持ちを新たに、生徒たちに真剣に全力で向き合っていく覚悟をするとともに、新入生がこれからの学校生活を充実したものにしてくれるものと信じています。

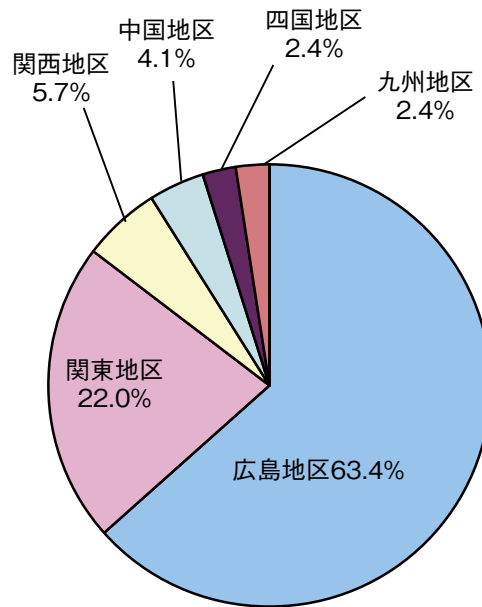


「誓いの言葉」を述べる新入生代表

- 様々なビジネスシーンにおいて必要な企業が求める「社会人基礎力」を備えた人材の育成に努めています。
- 従来から素直で積極性がありフットワークの軽い学生を育てており、実社会での活躍が評価され、近年学生1人当たり約40倍の求人倍率を得て、高い就職率を達成しています。
- 就職模擬試験をはじめ面接・小論文の指導など、学生一人ひとりの適性・能力に合わせた就職活動を就職課と教員がきめ細かくサポートします。

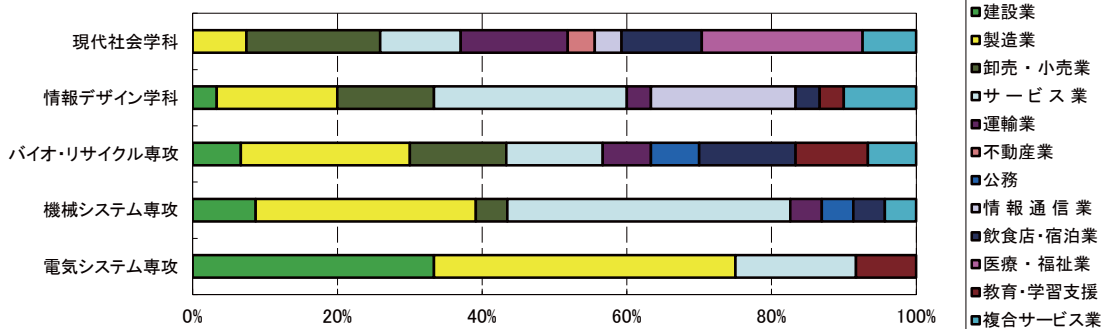
## 主な就職先

	工学部	情報デザイン学部	現代社会学部
広島地区	アクト中食(株) (株)今西製作所 (株)エディオン (株)オガワ (学)尾道学園尾道高等学校 (株)音戸工作所 麒麟倉庫(株) (株)サンポール 中国精螺(株) 中国電機製造(株) (株)中電工 ツネイシカムテックス(株) (株)東洋シート (株)長沼電業社 (株)にしき堂 (株)ニッポー (株)日本製鋼所広島製作所 広島県警察 ホシザキ中国(株) (株)ロジコム	安芸情報システム(株) 亜細亜経済協同組合 (学)呉武田学園呉港高等学校 (株)ケーシーエス (株)サタケ (株)ダイキエンジニアリング (株)中国新聞システム開発 (株)寺本鉄工所 (株)B to B ホールディングス (株)ピバックス 広川(株) 広電観光(株)	青山商事(株) (株)大野石油店 (医)好縁会 三友商事(株) (福)たちばな苑 (株)はっけん 広島市農業協同組合 広島海苔(株) (福)福祉広医会 (株)ワロムシステムダイレクト (株)ムロオ (株)ロジコム
関東・北陸	(株)アビスト (株)アルトナー (株)ABC Cooking Studio (株)協和エクシオ 山九(株) (株)大庄 チムニー(株) (株)ナガワ (株)マイテックフィルダース	(一社)日本・ミャンマー文化経済交流協会 (株)夢テクノロジー (株)ワールドストアパートナーズ	(株)アルファベットパステル 湖山医療福祉グループ (株)東横イン 日本郵政(株) ヤマト運輸(株)
関西・東海	(株)アスパーク (株)片倉の銅管 (株)マクシス・シントー わかやま市民生活協同組合	ハートランド(株)	(株)SFC (株)サイネックス
中国・四国・九州	(株)エクセル電子 (株)ジョイフル	(株)オートシステム (有)長崎管業設計社 (株)花の海	(株)日新グローバルテック (有)松の湯 マルハマ食品(株)



地区別就職先

## 業種別就職状況



平成25年度

# 広島国際学院大学自動車短期大学部進路状況

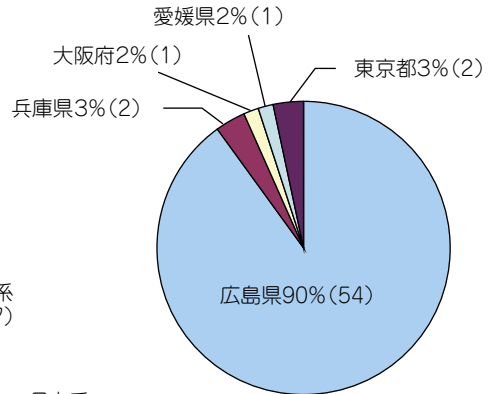
平成26年3月31日現在

## 進路状況

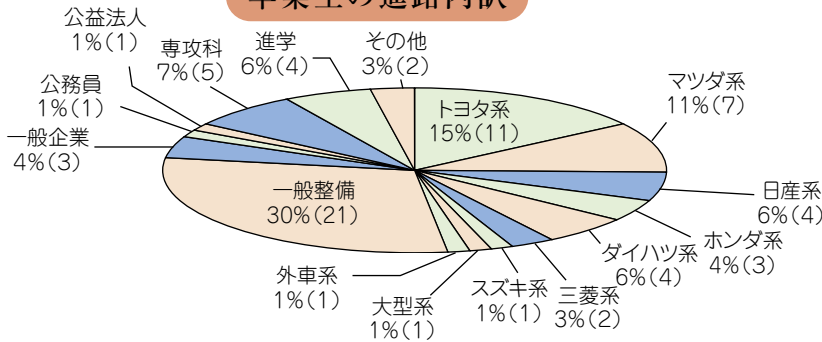
就職率 100%

卒業生数	71名
就職決定者数／希望者数	60名／60名
進学決定者数／希望者数	9名／9名
自己開拓等	2名

## 地域別就職状況



## 卒業生の進路内訳



平成25年度

# 広島国際学院高等学校進路状況

平成26年3月31日現在

学 科	性 別	在 籍	進 学				就 職					
			大 学	短 大	専 門	未 定	県 内	県 外	公 務 員	自 営	自 己	未 定
総 合 学 科	男	68	35	5	10	6	8	0	1	0	3	0
	女	75	26	10	33	3	1	0	0	0	2	0
普 通 科	男	161	123	4	19	8	0	0	4	0	1	2
	女	198	113	25	44	10	1	0	0	0	5	0
合 計		502	297	44	106	27	10	0	5	0	11	2
		%	94.4				5.6					

## 大学・短期大学 合格先

	大 学	短 期 大 学
中四国	広島大、山口大、愛媛大、県立広島大、広島市立大、尾道市立大、岡山県立大、島根県立大、下関市立大、水産大、日本赤十字広島看護大、エリザベト音楽大、近畿大、比治山大、広島経済大、広島工業大、広島国際学院大、広島国際大、広島修道大、広島都市学園大、広島文化学園大、広島文教女子大、広島女学院大、安田女子大、福山大、徳山大、山口東京理科大、東亜大、岡山理科大、環太平洋大、川崎医療福祉大、岡山商科大、くらしき作陽大、倉敷芸術科学大	比治山大短大部、安田女子短大、広島国際学院大自動車短大部、広島文化学園短大、山陽女子短大、中国短大、川崎医療短大
その他	北海道大、東京外国語大、熊本大、鹿児島大、北九州市立大、福岡県立大、防衛大、慶応義塾大、上智大、国際基督教大、津田塾大、日本大、東海大、明星大、神奈川工科大、帝京大、東京国際大、東京工芸大、創価大、拓殖大、洗足学園音楽大、日本福祉大、愛知大、名古屋産業大、金沢学院大、金沢工業大、四日市大、京都学園大、立命館大、京都産業大、龍谷大、関西大、関西学院大、同志社女子大、京都外国語大、関西外国語大、佛教大、大谷大、大阪産業大、大阪経済法科大、桃山学院大、大阪学院大、大阪成蹊大、甲南女子大、大手前大、神戸学院大、武庫川女子大、福岡大、九州国際大、西南学院大	関西外国語短大部、関西女子短大

## 専門学校 合格先

呉医療センター附属看護、呉市医師会看護専門、広島アロマテラピー専門、広島製菓専門、穴吹デザイン専門、小井出ファッションビューティ専門、IWAD環境福祉専門、文化服装学院、広島高等歯科衛生士専門、広島酔心調理製菓専門、トリシティカレッジ広島医療福祉専門、朝日医療専門、広島工業大学専門、広島YMCA専門、広島医療秘書こども専門、広島情報専門、広島県理美容美容専門、代々木アニメーション学院、広島リポート&スポート専門、広島コンピュータ専門、広島市医師会看護専門、広島情報ビジネス専門、広島ビジネス初専門、広島デンタルアカデミー専門、広島会計学院電子専門、広島ビューティアート専門、広島美容専門、総合学園ヒューマンアカデミー、広島外語専門、岩国YMCA国際医療福祉専門、玉野総合医療専門、岡山労災看護専門、岡山医療技術専門、リハビリテーションカレッジ島根、ESPミュージックアカデミー、日本パレージョン演技研究所、駿台観光&外語専門、東京工科専門、神戸医療福祉専門、神戸ファッション美容専門、大阪リポート&スポート専門、大阪航空専門、近畿高等看護専門、横浜スイフ&カミ専門、福岡リポート&スポート専門、福岡南美容専門

## 主な就職先

㈱イガワテック、㈱大野石油店、共盛自動車工業㈱、(医)せのがわ、コスモ石油販売㈱、㈱中尾鉄工所、㈱伯和、広越㈱、双葉運輸㈱、㈱ロジコム、広島県警、大阪府警、自衛隊



第三者評価訪問調査のひとつ

## 短大第三者評価適格

自動車短期大学部 ALO 濱谷 克則

本短大は、一般財団法人短期大学基準協会による平成25年度第三者評価の結果、適格と認定されました。

ここではこれまでの経緯と今後の自己点検・評価活動の進め方を紹介します。

平成17年に1回目の第三者評価を受審してから7年目の平成25年度に2回目を受審することを決めたのは、平成23年のことでした。一般財団法人短期大学基準協会による第

三者評価が平成24年度から2サイクル目となり、新しい評価基準が公表された時期です。受審の主体となる短大自己点検・評価委員会を軌道にのせ、大きく変更された評価基準による自己点検・評価報告書を試行錯誤しながら完成させ、提出にこぎつけたのは、期限ぎりぎりの平成25年6月でした。

提出後の書面調査に引き続き、9月18～20日には訪問調査が実施され、評価チームの先生方からは、本短大の活動に対する過大な評価をいただくとともに、改善すべき課題についても浮き彫りにしていただきました。評価結果の詳細が記載された機関別評価結果は、審査の資料となった平成24年度自己点検・評価報告書に併せて近々発行する予定です。

今後は、指摘された課題の改善を通し、学生が短期大学士として十分な学習成果を身に付けて卒業できるような教育課程と学習支援の充実に不断に取り組んでいきます。

無事に第三者評価を終え、適格の認定を得ることができたのは、理事長、学長、法人本部のご支援ご協力の賜物であると同時に、本学教職員の丸となった活動成果であり、深く感謝しています。

## 自動車短期大学部が創立50年

平成26年は自動車短期大学部が創立されてから50年となります。昭和39年に開学して以来、8,000人以上の卒業生を社会に送り出してきました。現在多くの方々が自動車整備関連企業や様々な産業界で、重要な役割を担って活躍されています。この節目の年を記念いたしまして同窓会のご協力のもと、50周年記念の講演会を11月に開催する予定です。多くの皆様のご参加を期待しております。



自動車短期大学部校舎

★ 今後の主な  
行事予定  
(赤字は公開行事です)

大学・短大	学長杯スポーツ大会(大 5/11) 球技大会(大 5/25) <b>学外展(大 6/8)</b>
	オープンキャンパス(大 6/22 7/27 8/23 短 6/22 7/20 8/24 9/21) 前期末試験(大 7/30 ～8/5 短 7/31～8/4) 夏季休業(大 8/6～9/17 短 8/5～9/10) <b>高城祭(10/25～26)</b>
高校	新入生集団合宿(5/16～20) 中間考査(1年 5/12～15、2・3年 5/16～20) <b>体育祭(6/7)</b> 芸術鑑賞会(6/27) 期末考査(7/7～11) クラスマッチ(7/17～18) 卒業式(7/19) 夏季アメリカ語学研修(7/26～8/8) 始業式(9/1)

この広報誌及び第三者認証評価結果はホームページでご覧になれます。

<http://office.hkg.ac.jp/>

高校生以上の方に図書館を開放しています。 詳細は図書館までお問い合わせください。TEL082-820-2536